

平成22年度第2回豊橋市立小・中学校通学区域審議会会議録

- 1 開催日時 平成23年3月29日(火)午後3時00分～午後4時30分
- 2 開催場所 豊橋市役所東館 東121会議室
- 3 出席者 委員 伊藤秀昭、豊田一雄、金子浩治、中島健治、平岡久章、金仙宗哲、朝倉由美子
事務局 加藤正俊(教育長)、倉橋斎支(教育部長)、加藤慎一郎(教育部次長)、大森啓充(総務課長)、白井宏治(学校教育課長)、村田敬三(総務課課長補佐)、坂部吉宣(学校教育課課長補佐)、上村安彦(総務課主査)、戸倉洋樹(総務課)
- 4 欠席委員 渡辺孝典、村川博美
- 5 議 事
(進行：事務局総務課長)
 - 1 会長あいさつ
 - 2 経過及び現状について
 - (1) 豊橋市立小・中学校通学区域審議会の主な経過について
 - (2) 学校別児童生徒数と学級数の推移(予測)について
 - (3) 特定地域隣接校選択制及び特認校制について
 - (4) 学校規模の適正化に向けた他都市の状況と本市の今後
(一括して事務局：総務課長より説明、質疑等は下記のとおり)
 - 3 その他

主な意見、質問

<伊藤委員>

地元説明会を開いたとのことであるが、その中で地域のコミュニティが壊れているという意見がある。しかし、乗り越えられない課題ではないと思うので、いい方策が出せばいい。

神戸市の中心部で2校を統合し、廃校したところに都市開発でマンションを建てたら、再度分離しなければならなくなったという話を聞いた。人口推移で推計しても開発で宅地分譲やマンションが建つと状況は変わってしまう。校区の中心に学校が建設できればいいがそういうわけにもいかず通学距離を含め難しい問題だ。

学校整備は人口は自然増だけでなく、社会増も考慮していかないといけない。(教育部長)

<金仙副会長>

他校区の学校を選択すると地域の付き合いだけでなく、同窓会も影響を受けるという意見を聞く。親がより良い環境を求めて学校を選んでいくことは自然なことであり、今後学校を選んでいくことが当然なこととなる可能性はある。事務局で地域に出て積極的に選択制の説明をして欲し

い。また、校区の説明会で金銭面の援助の要望があったとのことだがどういったものか。

子ども会の行事等で市が負担金を出して欲しいというもの。(総務課長)

<中島委員>

選択制の場合だが、対象地区に転入があった場合、市の窓口でその地域が選択制により学校を選べるという説明をしているのか。1人増えることにより学級編成等、学校経営に影響がでる場合がある。

選択制の説明はしている。(学校教育課課長補佐)

大規模校は人口流入が多く地元意識が希薄な場合もある。子どもの教育環境の向上をするため、校区の見直しか選択制導入かで議論をしたが、地元は校区の見直しよりも選択制を選んだという経緯がある。一方では、過疎地域の小規模校では複式学級の恐れもある。複式学級は子どもの教育環境にとっても良いことではなく、特認校制度を採用した。学校規模は自治体によっても考え方に違いがある。豊橋市の適正な学校規模を考えていきたい。(教育長)

選択制は制度としては大規模校の解消に成果はでていて、制度としては成功している。しかし一方で自治会の問題がでてきて、制度のひずみがでてきた。地元の付き合い等に保護者の理解をもってもらうことが重要。(教育部長)

<豊田委員>

校区の見直しは、教育の立場だけの問題ではなく、市民協働の立場でも考えていかないといけない。第5次総合計画でも共助とあり、共助ができる街にしたい。

市民協働推進課と考えていきたい。子どもにとってのメリット、地域のメリットを考えていかなければならない。(教育部長)

街づくりの視点から考えていかないといけない問題である。(教育長)

<朝倉会長>

宅地開発により子どもが増えて学校を新設しても、子どもが成長し独立すると高齢者だけになり、過疎化する場合がある。

<豊田委員>

核家族化の街づくりでなく、3世代同居の街づくりをしていかないといけない。

人づくり、地域の中で子どもを育てていくという視点で考えないといけない。単に統廃合ではいけない。(教育長)

<金仙副会長>

教育課題検討会議には1名自治連合会から選出予定のようだが、数を増やしていただきたい。

<金子委員>

児童の予測数字で吉田方小学校は平成28年に39クラス、1,200人になっているが、教室数は足りるのか。

この予測は選択制の利用者を考慮しておらず、松葉小、花田小へ毎年200人程度利用者がいるため、実際には現状の1,000人程度になると思う。(教育部長)

松葉小、花田小は選択制により活性化しており、選択制は機能している面もある。地域コミュニティの問題はあるが、地元から解決策がでるのが一番いいが、校区の見直しは地元での

昔からの付き合いも考慮していかないといけない。(総務課長)

小規模校についても考えていかないといけないが、統廃合により通学距離があまりにも長くなってもいけないので、配慮が必要。(教育部長)